

東海地方

社会

政治

経済

国際

スポーツ

エンタメ

## 医学部卒のアスリート・真野悠太郎 中断した医学の道、五輪目指し陸上400mハードルに捧げた1年

©2021年6月25日 08:00

24日、東京五輪の代表入りがかかる陸上の日本選手権が始まりました。名古屋大学医学部の卒業生も、400mハードルで夢舞台を目指す1人です。学生日本一の実績を持つアスリートが五輪にかける思いとは。

聞きなれた曲なら楽譜いらず、口笛感覚で弾けちゃう天賦の才能を持つピアニスト。

その正体は、陸上400mハードルで東京五輪を目指す愛知県江南市出身の真野悠太郎選手です。



真野悠太郎選手(愛知県江南市出身)

学生日本一の実績を持ち、さらにすごいのはその学歴。

この春、名古屋大学医学部を卒業、超エリート街道を突き進むアスリートです。

### 名古屋大学医学部卒業の超エリートが下した決断「陸上に全てをかける」

ピアノができてスポーツ万能、それでいて頭脳明晰。

多才すぎる男が今、大きな挑戦を試みています。



名古屋大学医学部卒業の真野選手

研修医になることを1年延期し、陸上に専念することを決めました。

「人生で一度出れるか出られないかという東京五輪って機会がありましたので、医学の道はいったん中断して、陸上に全てをかけるって形でこの1年臨もうと決めました」(真野悠太郎 選手)

### 強さの秘訣はピアノ「体にリズムが通っている」

高さ約90cmのハードル、それを10台跳び越えながら400mを走る過酷な種目。



幼少期から習っていたピアノ

「きれいに跳べる時には何も高いと思わずに跳べるんですね。それがたまらない」(真野悠太郎 選手)

「頭を使って工夫すればタイムを縮めることができる」その奥深さにハマりました。

「こうしたらもっとうまくいくんじゃないのかなってところを考えると、実際にそれをやってみてどうなるのかっていうのを、繰り返していく過程自体が好きなので、僕の性格にはハードル種目がすごく合っているんじゃないかなって思います」(真野悠太郎 選手)

日本選手権で、2年連続決勝に進んだ五輪の代表候補。

強さの秘訣こそ、幼少期から習っていたピアノでした。

「体にリズムが通っているというか、タイミングが合えば力も発揮しやすいですし、そういうところでトントントンってリズムをピンポイントで捉える感覚は持っています」(真野悠太郎 選手)

リズム感をも兼ね備える、ハイスベックアスリート。

編集ソフトでライバルの足音を再現し、目標とするリズムを体に植え付けています。

「一人で練習できるようにオンユアマーク(位置について)から入ってるんですよ」(真野悠太郎 選手)

さらに、その音源を聞きながら走ることで、イメージトレーニングにも役立てています。

### クラブチームを設立…練習環境を整えてくれたコーチの存在

試行錯誤を重ねる彼には、心強い味方がいました。



学生時代から指導する勝見雅宏コーチ

学生時代から指導する勝見コーチです。

所属先のない真野選手のために、なんとクラブチームを設立。

競技に打ち込める環境を整えました。

「正直言ってまだ、彼の実力が僕もわかりません。まだまだ伸びる余地がたくさんあると思うので、計り知れない魅力があると思うんですけど、日本選手権で一発やってくれるだろうなって気持ちが高まっています」(名古屋ストライダースTC 勝見雅宏コーチ)

### 東京五輪の代表入りをかけた日本選手権開幕「五輪で勝負したい、日本選手権は通過点」

東京五輪の代表が決まる日本選手権が24日に開幕。



東京五輪の代表入りを目指す真野選手

設定されたタイムを切り、3位以内に入れば、夢舞台への切符が手に入ります。

「目標としては、五輪に出られたら良いやではなくて、五輪で勝負をしたいって今回1年陸上競技に専念する時間を取ってますので、あくまで日本選手権は通過点って風に捉えていて、そこをしっかりと通って行って、五輪本番での活躍ってところを見据えて本番に向かっていきたいと思います」(真野悠太郎 選手)

全てがパーフェクトな真野選手ですが、実は短所も…。

「昔、フラフープができないっていうのが短所と言われたことがあります(笑)」(真野悠太郎 選手)

真野選手が出場する400mハードルは、25日に予選、26日に決勝が行われます。

(6月24日 15:40~放送 メ〜テレ『アップ!』より)

皆様からの情報をお待ちしております

**みんなのスクープ**投稿は  
コチラ**アップ!** 毎週月曜~金曜  
午後3:40から放送 メ〜テレニュースの  
おすすめ記事がLINEに届く!

アカウントを友だち追加!

**朝日新聞** My TOWN  
DIGITAL 愛知 **日本記者クラブ**  
Japan National Press Club